

授業科目名	体育実技	教員名	後藤芳郎	免許・資格との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
					保育士	必修
授業形態	実技	担当形態	単独		こども音楽療育士	
科目番号	KEN102	配当年次	1年次前期	卒業要件	小幼コース	必修
単位数	1単位				幼保コース	必修
科目						
各科目に含める必要事項	(
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる健康づくりの基礎を身に付ける。 ・各種の運動を楽しむことで体力の維持・増進を図り、心身ともに健康で豊かな学生生活を実現する。 					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各種運動の楽しさを味わい、自己の体力向上や増進を図る態度を育てる。 (2) ゲームや練習を通して、運動の特性に応じた技能等の能力を身に付ける。 (3) ペアやチームで、めあてに向かって協働する姿勢を育てる。 					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている、6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	各種の運動やスポーツを楽しむことで、体力の維持・増進を図っていくことを実践していく。バスケットボール・卓球・バレーボール・バドミントンを中心に運動能力の向上を図る。学習者それぞれがリーダーシップを発揮し合い、主体的に運動とかかわる場づくりに努める。授業形態は、実技とする。					
履修条件・注意事項						
授業計画	<p>第1回：授業への取組みに関するオリエンテーションとグループ編成（目標（1））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動実践と健康及び準備運動等に関する基本的な事項について理解する。 ・バスケットボールの楽しさを知り、次回から第4回までの練習及びゲームのためのチームをつくる。 <p>第2回：バスケットボール基礎①のシュートやパス・ドリブル練習と簡単なゲーム（目標（2））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュートの角度やパスの種類を考えた練習を行う。 <p>第3回：バスケットボール基礎②であるパスを意識した3×3ゲームの体験（目標（2・3））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3×3のルールを知りパス練習を意識したゲームを楽しむ。 <p>第4回：バスケットボール基礎③を応用した正規ルールに近いゲーム（目標（1・3））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回までのパスやシュート練習を活かしたゲームを行う。 <p>第5回：バレーボール基礎①のゲームの楽しさ理解、安全で能率的なネットの準備・片付け（目標（1））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拮抗するグループ編成とし、ゲームの本質をとらえたバレーボールの楽しさを考える。 ・安全で能率的なネットの準備・片付けを確認し、ためしのゲームを行う。 <p>第6回：バレーボール基礎②としてパス・レシーブ練習とルールを工夫したゲーム（目標（2））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ練習とルールを工夫してのゲームを楽しむ。 <p>第7回：バレーボール基礎③を応用してミニバレーボールのゲーム（目標（2・3））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3回目で返球するルールを活かして、レシーブ・トス・スパイクの攻撃パターンをつくるようにする。 <p>第8回：バレーボール基礎を応用して正規ルールを意識したゲーム（目標（1・3））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携を大切にしながらつなぐバレーボール、攻めるバレーボールを楽しむ。 <p>第9回：卓球のゲーム構造とラケットの選択と持ち方の基礎①、安全に配慮した卓球台やネットの準備・片付け（目標（1））</p>					

	<ul style="list-style-type: none"> ・フォアハンドの体の動かし方の基本を身に付ける。 ・プレースタイルに合った道具（シェークハンド・ペンホルダー）の選択と型を知る。 <p>第10回：卓球基礎②としての素振り、スタイルづくり、簡易ゲーム（目標（2））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のプレースタイル（カット型・ペンドライブ型）に応じた基本姿勢としての素振りを練習する。卓球基礎を応用したゲーム（目標（1・2）） ・今もっている力で、相手を変えながら正規ルールでシングルスゲームを楽しむ。 <p>第11回：卓球基礎③として簡易ダブルスゲーム（目標（2・3））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの気持ちを一つにして、これまでに身に付けたチーム力を発揮する場づくりをしながらほぼ正規のルールでゲームを楽しむ。 <p>第12回：バドミントンのゲーム構造とラケットの持ち方の基礎①、ネットの立て方等（目標（1））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラケットの握り方・振り方を1人で、及び2人組で練習する。 <p>第13回：バドミントン基礎②としての足の運び、素振り、簡易のダブルスゲーム（目標（2））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コート上における体の動かし方の基本を身に付ける。移動の仕方に慣れる（前、後、左、右、斜め前方、斜め後方）、効き足の使い方を知る（フォアハンド、バックハンド）、上半身の柔らかい動きも併せて考える。簡易ゲームを楽しむ。 <p>第14回：バドミントン基礎③としてのサービス、レシーブ、ダブルスゲーム（目標（2））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスを確実に入れる。サービスレシーブを確実に返す。正規のルールでゲームを楽しむ。 <p>第15回：バドミントン基礎④を応用したダブルスゲーム（目標（2・3））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで気持ちを一つにし、正規のルールでリーグ戦を楽しむ。 <p>定期試験：試験期間中に実施</p>
学生に対する評価	<p>授業態度の観察評価(40%)、定期試験(60%)で評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
時間外の学習について	<p>（事前・事後学習として週2時間以上行うこと。）</p> <p>事前学習：それぞれのグループで、現在の力量に応じた練習・ゲーム内容を検討し、練習・ゲーム計画を作成する。</p> <p>事後学習：事前学習で準備した計画をもとにした実際の活動を振り返り、次時の計画に発展させる。</p>
教材にかかわる情報	<p>テキスト：特になし</p> <p>参考書：</p> <p>参考資料等：その都度必要に応じて手作り資料を印刷・配布する。</p>
担当者からのメッセージ	<p>種目にふさわしい服装・シューズを用意する</p>
オフィスアワー	<p>授業の前後の時間（メール等でアポイントを取ること。）</p>
備考	